

「リーダーの一流、二流、三流」という本からです

三流は、お客様に対する時間だけ確保し、二流は、資料作成などの時間も確保し、  
一流は、意図的にサボり時間を確保する。

リーダーに昇格したBさんは元々トップセールスマンでしたが、これからも結果を出して背中で部下を引っ張っていかうと考えていました。

リーダーになり、社内の会議も増えましたが、それ以外の時間は、お客様のアポイントをどんどん入れていきます。

社内の会議で使う資料作成や報告書を書いたりする仕事は、夕方帰社後に残業してやっていました。

いわゆるプレイヤーのときと同じペースで働いていたのですが、1 ヶ月もすると時間が足りなくなってきました。

リーダーになると、社内の報告書の作成など、自己完結の仕事も増えてきます。ですから、「自分へのアポ」、いわゆる「自分ひとりでやる仕事」の時間帯を確保しておく必要があるのです。仕方なくBさんは、見込みの低いお客様のアポイントを減らしたり、一部のお客様を部下に引き継いだりして、資料作成などの自己完結の仕事もアポに入れるようにしました。しかし、それでも時間が足りません。

では、どうすればいいのでしょうか。答えは、サボる時間をつくることです。私が出会った結果を出している一流のリーダーの方々は、口を揃えておっしゃいます。「リーダーはサボるのも仕事だ」「俺はサボる時間を確保している」と。

では、なぜサボる時間が必要なのでしょうか？それには、主に3つの理由があります。

① 業務を止めないため

リーダーには事案の承認、決裁などの仕事があります。仮に日常業務や会議で追われてしまうと、対応ができず、リーダーが決裁しないから業務が進まなくなった、遅れたために他社へとられてしまったといった状態になりかねません。リーダーがボトルネックになってしまうのです。リーダーには、即時の対応と判断が必要になります。

② メンバーとの信頼関係を構築するため

リーダーに余裕がないことで、メンバーの話を聞く時間がとれない、聞いていたとしても聞き方がぞんざいになっているなど、メンバーに不満が高まり、信頼を損ねてしまう可能性もあります。メンバーとコミュニケーションをとって育成することは、リーダーの大切な仕事です。

③ 長期的視野を持った仕事にとり組むため

ビジネス環境の変化のスピードが激しい現代では、常に新しいビジネスを考えていかなければなりません。また、ITなどの発達によって仕事が模倣されやすくなっています。リーダーは、短期的な仕事だけでなく、長期的な仕事をする時間も確保しなければなりません。

なぜサボる時間が必要なのでしょうか？

① ( )

② ( )

③ ( )